

●中絶禁止法反対！
●ピルを全面的に
解禁せよ！

ネオリブ

発行：中絶禁止法に反対し
ピル解禁を要求する
女性解放連合
発行所：東京都杉並区上荻
2-19-15(403)
定価：一部50円

優生保護法改悪案廃案！

修正し秋国会再上程目論む

今国会（7/24終了）に上程されていた優生保護法改悪案は廃案となった。厚生省の山口政務次官の談話によると政府は、この改悪案を再修正して次国会に再提出しようともうすで考えている。

前々から述べてきたように、優生保護法は刑法堕胎罪のある中で、戦後作られた条件付中絶の許可法文であり、主軸は人口政策である。現在の改悪も近年の出生率低下の若年労働力不足対策、つまり人口政策及びそれを支えるところの女に対するイデオロギー攻撃としてあるのである。

◎廃案の背景

人口政策は国家形成にとって重要政策であるが、現在田中政権は長期的人口政策より今の政権を支え、維持する為の政策をうち出すことが必死であり、それら「健保」「防衛二法」「国鉄運賃値上」等の重要法案を成立させることに力をそそぐ為の廃案である。あくまでも政府の都合によって、残念ながら我々女達の闘いによる全面的勝利として

の廃案ではないけれど、廃案に持ち込むのに我々の闘ってきた、ピル解禁や、あの東洋女子短大生を初めとする「子殺し」という現象、及び「子殺しの女を支援する会」の運動が大きく影響を与えた評価できうると考える。

なぜなら、マスコミ等で扱われた優生保護法改悪の問題において、まず完全に安全な避妊手段、ピルやリングの許可が叫ばれ、政府厚生省はそれを全く無視することはできなかつたのである。

そして「子殺し」という現象に対して、政府はマスコミを利用して、子殺し続発の如く「子殺しキャンペーン」をや

り、「子を生み家事育児をする母として、妻として」の女子教育、イデオロギー攻撃をかけてきたのであるが、女子短大生による「子殺し」は半面、イデオロギー攻撃に対抗するべく、「女はみな結婚し子を生み育て家庭を守る」という秩序観、価値観を崩壊する行為として大きく作用したのである。

◎今後の見通し

この優生保護法改悪が人口政策として、一政権にとって重要法案であるかぎり、政府厚生省は、山口政務次官が口にしてきたように、次のように再修正して秋国会に再上程する考えである。

- ①パイプカットを避妊手段としてある程度認める
- ②胎児チェックの緩和
- ③経済的

「ピル」普及妨害をはねのけ全面解禁へ

優生保護法改悪案が提案されたのが昨年五月二十三日。それと時期を同じくした、女

に対するしめつけはまだある。昨年四月に、今まで薬局で自由に手に入ったピル（月経

困難症等の治療薬として販売されていたもの）を、医師の処方箋あるいは指示書なしに売ってはならないとする要指示薬に指定し、同六月には製薬会社に対し、薬局からのピル回収命令をだしているのである。

理由は同じく削除。我々は、条文の「修正」なるものに怒わされてはならない。彼らは、一点、中絶のしめつけと、それを女自身に自主規制させるべく、イデオロギー攻撃、その方向を目指しているにかわりはない。

我々は、この間「生む生まないを決めるのは女の権利」と主張し、その自由な選択を保障していない中絶の禁止、規制の現状低下に対して、「中絶は女の生きる基本的権利」として、この優生保護法

作用説で逃げまわっていた厚生省は、もはやこれまでとみるや、ピルに関する正確な知識情報をストップさせようと圧力をかけてきている。

政府が優生保護法改悪案を提案した際、確実な避妊方法（ピル・IUD）が許可されないでいるのに、なぜ中絶をしめつけるようなことをするのか。現在の中絶件数の九割までが、避妊に失敗した家庭の主婦によるものであるというところが指摘された。国会内外で、優生保護法が話題になっていた間は、人々は、ピルを知りたいという意識をもっていたが、「防衛二法」や「健保」「国鉄」等の重要法案にマス・コミ等が、力点を

改悪阻止を闘ってきた。改悪の主目的は、イデオロギー攻撃を伴ったところの人口政策中絶のしめつけであるという認識をふまえて、既成の「女はみな子を生み育て家庭を守る」という強いられた生き方からの解放を目指し、秋の国会再上程に向けて、更なる運動の充実、発展を考えてゆかなければならない。現在、「中絶の権利主張は障害者差別だ」という批判が出されている。次号において、我々の主張の正当性を述べつつ、彼女らの論理のはき違いを指摘したいと考える。

第にその意識も薄くなるうとしてい。そして厚生省もなんとか、解禁要求の声を下火にさせようとしているようである。このような状況下で、ピルに関する正確な知識を広めようと、我々の中から、榎美沙子氏が「ピル」（カルチャー出版）を出版したが、その内容には、政府が読者に知られては困るような、現在の医療体制のことなども含まれている。そのため、これが人の目にふれることにおそれをなしたのか、圧力がかかり、流通経路に流れにくくなっている。我々はピルの正確な知識を、全国の女に普及させるため、書店での購入というかたちでこの圧力をはねのけるよう協力を呼びかけます。そして、ピルの全面解禁まで、更に運動を押し進めていきたいと思っています。

7・21 集会

19才の少女に対する起訴処分抗議する

子殺しの女を支援する会

東洋女子短大王子寮で19才の少女が産んだばかりの子をゴミ箱に捨てた事件について、検察庁は不当にも起訴処分にした。そしてこの事件についてマスコミは非常にセンセーショナルな取り扱いをし、入りであたかもその少女になりきったような書き方で小説風に週刊紙に載せるなど、全く興味半分にしか扱おうとはしなかった。商業新聞も、できる限りの悪意をもってこの事件を報じたのであった。たとえば「この少女は平然と事件のあと旅行に出かけてい

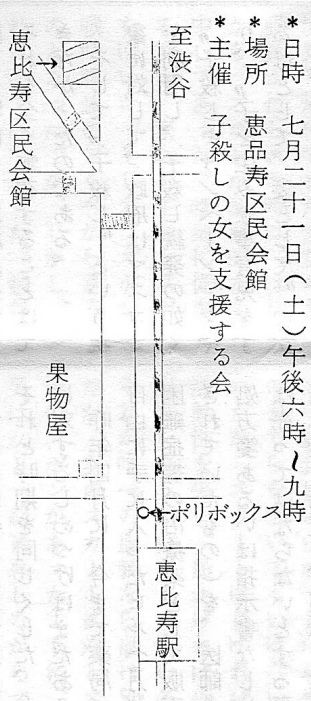
7・7 中絶禁止法反対集会報告

七月七日、恵比寿区民会館にて中絶禁止法反対集会が約六十名の女達によって開かれた。この集会は優生保護法改悪案廃案の見込みのうえで、現行の優生保護法及び現在は骨ぬきとなっている堕胎罪をも徹廃していくという方向で進められた。

参加者の一人から今回の優生保護法改悪案は流れそうであるが、それは決して女達の改悪案反対の運動の成果ではなく、政府自民党が重要法案通過まで手が回らなかったために廃案となりそうなのであ

た。」などと記者の個人的な感情を露骨に出したものである。最近、ゴミ箱やコインロッカーに捨てることを非常に残酷な恐ろしい女のしたことのように報じられているが、それは昔のようにはまわりに土がないので、埋めることもできず、必然的な事としてあるのである。女の子殺し、子捨てが、現在の女の生き難さをそのまま真向から受けた女の結果であることは明白な事実である。子供を産んだ女がいかに現在の社会において人間として抹殺

されているかは多くの女の知るところであるが、その不満を今まで多くの女は沈黙に沈黙を重ねてきた。しかしこの沈黙は、今や絶対にやぶらなければならぬとい



第3回中ピ連夏期セミナー (8月3, 4, 5日)

最終案内

◎参加要領

- 1) 参加費 (ネオリブ24号訂正) 1講座①~⑨ 各200円
- ロ) 食事 センターの食堂にて
食券 昼食ABC 140円 夕食DEF 180円
- ハ) 宿泊 1泊ハ 無料 先着20名
- ニ) 申し込み用紙参照
- ホ) 問い合わせ (03) 398-8876
(番号・記号 下日程参照)

◎日程

日	12:00	14:00	17:00	18:00	20:30	宿泊
3 10:00 日	① 休憩A	②	③ 休憩D	④	⑤	イ
4 10:00 日	⑥ 休憩B	⑦	⑧ 休憩E	⑨	⑩	ロ
5 10:00 日	⑪ 休憩C	⑫	⑬ 休憩F	⑭ ティーチン	⑮	ハ

◎講義と講師紹介

- ① 優生保護法と堕胎罪 (中ピ連)
- ② 戦後女性解放運動史 (女性労働問題研究会, 藤原道子)
- ③ 中国の医療 (高原亮治 都立豊島病院産婦人科医)
- ④ 女性の服飾史 (村上信彦 女性史研究家)
- ⑤ 職業病 (未定)
- ⑥ ピルとIUD (松山栄吉 厚生年金病院産婦人科部長東大講師)
- ⑦ 保安処分 (熊倉伸宏 東大病院精神科医師)
- ⑧ 働らく女性の必須法 (労基法等) (小川治子 司法修習生)
- ⑨ 女・男の解剖と生理, 性病 (江田文雄 社会保険中央病院産婦人科医師)

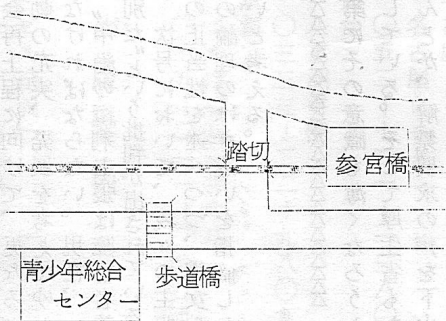
ティーチン 参加者相互の情報交換及び懇談

◎会場・地図

オリンピック記念
青少年総合センター
TEL(03)467-7201

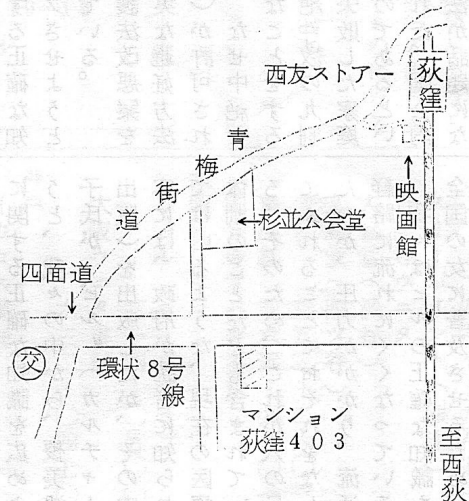
◎交通の便

東京駅から中央線で
新宿駅/新宿駅から
小田急線で二つ目参宮
橋駅下車/徒歩5分



◀新住所▶

東京都杉並区上荻2-19-15
マンション荻窪403
中央線荻窪駅西口下車徒歩5分
TEL 398-8876



事務所新設

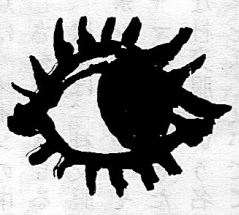
7月20日より、左記に移転しました。近くに御来しの際は御寄り下さい。

読者参加のネオ・リブを!!

最近、読者からネオリブがおもしろくない、マンネリ化したとの意見が聞かれる。ネオ・リブを内容豊かで、興味をもつて読むことができるようにするにはどうしたらいいか……七月二〇日に事務所も今までの居候から新しく設立したことで、これを機会に、ネオリブを「中ピ連ニュース」ばかりでなく、この間に設立されたリブ・インターナショナル・ジャパン、子殺しの女を支援する会、女性労働問題研究会等の独自の運動が活発化してきたことにより、運動の成果、方向をより多くの女に詳しく伝え、それぞれの各団体の運動の輪を広げていきたい、そのために、中ピ連ばかりでなく、その他の団体の記事を、ネオ・リブ紙上に今までより多く載せたいとの意見が出され、ネオリブ共同編集という形が打出された、そして読者の意見もつとネオリブ紙上に反映せるといふ方向が出された。

共同編集、読者の意見の反映、新しいネオリブ、全国の女性たちの情報交換の場にした……いろいろな構想が浮んだ。それらの構想を実現するために、まず第一に何をしたらいいか？ 読者の方が何

を望んで、どんなことに興味を持って、どんなことを知りたか、それにはアンケートをとってみるのがいいのではないかと、そして、情報交換の場として、活用させるため、全国の女性たちの運動をもつとネオリブに載せたい、今まで「全国の女性たちからのたよりだけが、読者からの意見の場であった。もつと広く読者に、ネオリブを開放したい、読者からの意見を本文に掲載したらいいのではないか、そして、ネオリブを実際的な全国紙にするため、各地に通信員の方を募集して、定期的に、各地の情報を伝えてもらい、それをもつとネオリブに全国の情



め

毎度のことではあるが、組合などの集会時の、女性の出席率が非常に悪い。ただ単に女だからという甘えで出席しない者、出てもわからないという者、また無関心層。後者は男にも言えることではある

いろいろな意見、構想を現実のものとするべく、ネオリブでは次のことを読者の方に御願ひします。

○アンケート
今まで、これからのネオリブに對しての批判的・建設的意見を読者から聞き、読者の意見の反映した、新しいネオリブにするため是非解答下さい。結果は、ネオリブ誌上に公開します。

○通信員募集
ネオリブに定期的に情報を伝えていただく通信員の方を募集します。資格は女の方ならどなたでも結構です。そしてこちらの出しているパンフ等の出版物をその各地で販売してもらい、その地域における情報の集中点になるようになってもらいたいのです。

が、でもそういう男に對しては他の者から横やりが入る。しかし、女の場合は出席しなくてもとがめる者はいない。年に一度の定期大会の時でも既婚者は、食事の用意があるからといって、ちよつと顔を出す程度で帰ってしまう。このような行事のあることは前々から分かつていることであるから、その日一晚の男の食事ぐらいどうにでもなるのに……女という作られたワタシの中から脱け出せない。共働きをしていても、女が家に帰

すべての女が
生み育てること
を強要すること
社会は、洋の東西を問わず生みたくないと思つている女をあらゆるやり方で抑圧し、殺し、生んだ女には重労働を無償で強要し殺している。生みたくないと思つる女にはその理由を聞かず、生みたくない女にはその理由を聞きだす。不妊症の女は「欠陥者」とみなされそのように扱われる。不妊症がなぜ悪い、生

世界中禁法反対運動資料集(1)

“アメリカ” リブ・インター

女はすべて生み育てるものだとこの社会の大前提を私達は否定していこう。それは女の一つの生き方でしかないのだ。生むか生まないかを決めるのは女の権利であり、中絶は女の自由意志によって行われるべきものである。

中絶を女の権利として勝ちとろうとする運動は各国の女達によつて進められている。私達はその資料に少しでもふれてみよう。世界女性解放に向けての連帯を模索する為に、第一回はアメリカのポストン女性ヘルス・コース集団、発行の *Our Bodies, Ourselves* から抜粋し引用した。一九七〇年版なので、「大勝利」以前のものになる。

抑圧の象徴中禁法
中絶は私達の権利——女性として自らの体をコントロールする権利——である。どんな中絶禁止法の存在も「たとえそれが一見「民主的」であろうと」すべての女性のこの権利を否定する。アメリカでは中絶禁止法は女性の抑圧を象徴しており、又それを支えるウソ、セックスは美しい、母性は女の天性、子供は女の喜び、貧乏な黒人、黄色人、白人も金持の白人と同じ機会を与えられる、などというウソを象徴している。

私達は時々妊娠するが、それは私達がセックスの対象物

入れられるのだ
れているからで
セックスが非常
とだと教えられ
えセクシーであ
えられていても
を知つていそう
みることがなか
たとえ聞いてみ
自分が悪いこと
うに思つてしま
妊のことを聞け
も効果的な方法
に入られない
するが、それは
な為であつて、
からではない。
ずその責任は私
る。

中絶の危険は
でも妊娠に週間
医療条件のもと
出産よりも危険
リカの女性には
が合法中絶が受
千人から五千人
法の中絶によつ
る。これが最も
の死因である。
我々が要求し
全て無料で自発
絶である。

私達はあらゆる
体を妨害する権
もうけの為に中
る医者達と中絶
とするゆすりと
ならない。

私達は時々妊娠するが、それは私達がセックスの対象物

